

令和5年度 ふるさと“とちぎ”応援だより

～～～令和4(2022)年度 ご寄附いただいた皆様へ～～～

昨年度は、栃木県へ寄附をいただきありがとうございました。

令和4(2022)年度に皆様からいただいた寄附金の実績やその
使い道をご報告いたします。

応援して下さった皆様の想いに応えられるよう、これからも魅力
あふれるふるさと“とちぎ”づくりに努めてまいります。

今後とも、ふるさと“とちぎ”への応援をよろしく願います。



■ 寄附の受け入れ状況

令和4(2022)年度 273件 11,562,500円

受入れメニュー	件数	金額
①ふるさと“とちぎ”の輝く人と地域を育てる (輝くとちぎの人づくり推進基金に充当)	16件	146,000円
②ふるさと“とちぎ”の多彩な文化を伝え育む (栃木県文化振興基金に充当)	12件	120,000円
③ふるさと“とちぎ”が世界に誇る日光杉並木を守る (栃木県日光杉並木街道保護基金に充当)	12件	380,000円
④“とちぎ”のプロスポーツチームを応援する (栃木県地域振興基金に充当)	7件	160,000円
⑤ふるさと“とちぎ”の交通事故ゼロを目指す (栃木県交通安全基金に充当)	3件	1,010,000円
⑥ふるさと“とちぎ”の福祉の向上を図る (栃木県地域福祉基金に充当)	5件	1,033,000円
⑦ふるさと“とちぎ”の救急医療の充実を図る (とちぎ安心医療基金に充当)	22件	5,223,000円
⑧ふるさと“とちぎ”の森を守り育てる (とちぎの元気な森づくり基金に充当)	13件	130,000円
⑨ふるさと“とちぎ”の産業を担う学生を応援する (とちぎ未来人材応援基金に充当)	9件	580,000円
⑩ふるさと“とちぎ”づくりのために幅広く活用する (知事におまかせ)	174件	2,780,500円

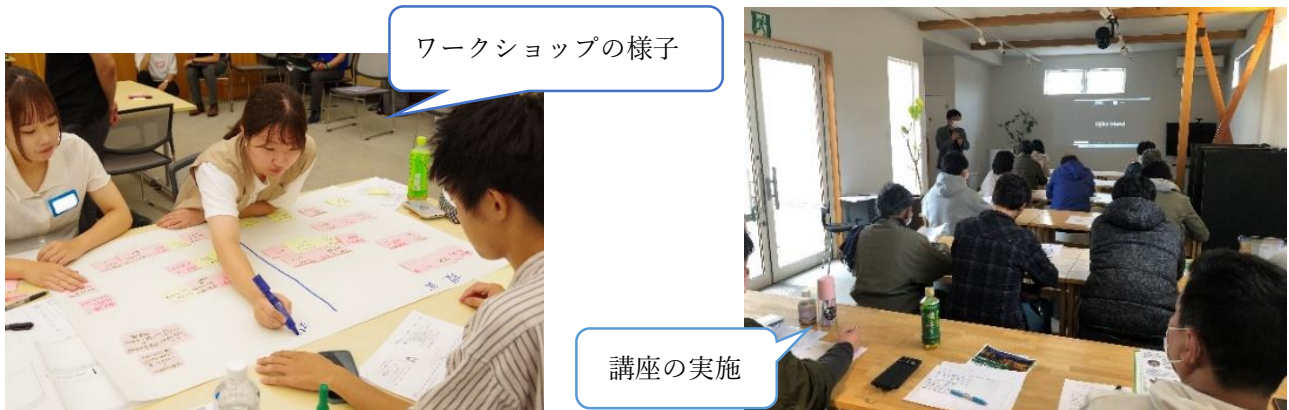
■ 寄附金の活用状況 ～令和4(2022)年度～

①ふるさと“とちぎ”の輝く人と地域を育てる(輝くとちぎの人づくり推進基金に充当)

「輝くとちぎの人づくり推進基金」は、女性・若者・高齢者・障害者をはじめ、誰もが活躍できる社会の実現に向けて、人材育成や主体的な活動の促進のために活用されています。

主な事業は次のとおりです。

- 女性活躍をオールとちぎで推進するための各種取組
- 地域の担い手となる若者を育成するワークショップ・講座等の開催
- 災害時における「地域の守り手」である建設業への若年者の就職支援
- 障害者就労支援施設が民間企業等と協力して取り組むコラボ企画の経費に対する助成



②ふるさと“とちぎ”の多彩な文化を伝え育む(栃木県文化振興基金に充当)

「栃木県文化振興基金」は、多彩な文化活動の促進、文化活動の担い手育成、地域伝統文化の継承、文化と他分野との連携による地域活性化等のため、文化団体等への助成事業に活用されています。

令和4年度の寄附金を活用して助成した主な対象事業は次のとおりです。

- 演奏会、公演、美術展
- 無形民俗文化財に指定されている民俗芸能及び年中行事に係る用具、衣装等の修理・更新等



③ふるさと“とちぎ”が世界に誇る日光杉並木を守る(栃木県日光杉並木街道保護基金に充当)

「栃木県日光杉並木街道保護基金」は、日本が世界に誇る貴重な文化遺産である日光杉並木街道の保護に活用されます。

令和4年度の寄附金は樹勢回復事業として、並木杉の根を保護するための木柵改修などに活用されました。

日光杉並木街道は『世界一長い並木道』
としてギネスブックに掲載されています



④“とちぎ”のプロスポーツチームを応援する(栃木県地域振興基金に充当)

栃木県内で活躍する7つのプロスポーツチームが取り組む地域貢献活動や新型コロナウイルス感染症対策の支援に活用されます。

寄附に際して、推しのチームがある場合には、チーム名を記載していただければ、寄附金はそのチームへの助成に活用させていただきます。

- 栃木 SC(サッカー) ○栃木シティフットボールクラブ(サッカー)
- 宇都宮ブレックス(バスケットボール)
- H.C.栃木日光アイスバックス(アイスホッケー)
- 宇都宮ブリツェン(自転車) ○那須ブラーゼン(自転車)
- 栃木ゴールデンブレーブス(野球)



⑤ふるさと“とちぎ”の交通事故ゼロを目指す(栃木県交通安全基金に充当)

「栃木県交通安全基金」は、県民一人ひとりの交通安全意識の高揚や交通マナーの向上を図り、交通事故のない安全・安心な“とちぎ”をつくるために活用されます。

主な事業は次のとおりです。

- 春・秋・年末の各季の交通安全県民総ぐるみ運動等の実施
- 参加・体験・実践型の交通安全教室の実施



シミュレーターを使用した交通安全教室

各季の交通安全県民総ぐるみ運動



⑥ふるさと“とちぎ”の福祉の向上を図る(栃木県地域福祉基金に充当)

「栃木県地域福祉基金」は、県民みんなで支え合い、共に生きる地域共生社会を目指し、地域福祉の充実を図るために活用されます。

主な事業は次のとおりです。

- 民生委員・児童委員活動の推進
- 福祉ボランティア活動の推進
- 障害者、要介護者、妊産婦等の専用駐車スペース(おもいやり駐車スペース)の適正利用の促進
- ヘルプマークの作成



⑦ふるさと“とちぎ”の救急医療の充実を図る(とちぎ安心医療基金に充当)

「とちぎ安心医療基金」は、救急医療の充実を図り、県民が安心して暮らすことのできる地域社会を実現するために活用されます。

主な事業は次のとおりです。

- 救急医療機関の医療機器購入への補助
- 小児救急の普及啓発事業



⑧ふるさと“とちぎ”の森を守り育てる(とちぎの元気な森づくり基金に充当)

「とちぎの元気な森づくり基金」は、高齢化した森林の若返りなど“災害に強い森づくり”を推進して、とちぎの元気な森を次の世代に引き継いでいくための様々な事業に活用されています。

主な事業は次のとおりです。

- 伐採後の植栽や広葉樹への転換
- シカ等による苗木の食害対策
- 里山林の整備・管理
- 境界等が不明な森林を解消するために実施する地籍調査



皆伐後の植栽



苗木食害対策

⑨ふるさと“とちぎ”の産業を担う学生を応援する(とちぎ未来人材応援基金に充当)

「とちぎ未来人材応援基金」は、大学生等の県内企業への就職を促進し、本県の産業を担う人材を確保することを目的としています。令和4年度の寄附金は、県内対象企業に就職予定の大学生等の奨学金返還額の一部を助成するために活用されました。

対象業種は製造業、卸売業・小売業、情報通信業、宿泊業であり、多くの学生に活用していただける制度となっています。



⑩知事におまかせ

使い道を知事におまかせいただいた寄附金は、寄附を受けた翌年度に、「とちぎ未来創造プラン」に掲げられた重点戦略事業に活用されています。

令和4(2022)年度の寄附については、『とちぎの未来を担う人材育成プロジェクト』の事業「STEAM教育推進事業費」として活用されました。

現在、情報化や国際化など急激に変化する社会環境に対応し、柔軟な発想と広い視野を持って活躍する人材の育成が求められています。

県では、モデル校として県立高等学校4校を指定し、文系・理系の枠にとらわれず、社会における課題を発見し、解決するために必要な資質・能力を育成し、幅広い分野で新しい価値を提供できる人材の養成をめざして、「STEAM教育※」を推進し、生徒の主体的な学びを促す指導方法や企業等との連携のあり方などについて研究を進めています。

※STEAM教育 Science(科学), Technology(技術), Engineering(工学), Arts(人文社会・芸術・デザイン), Mathematics(数学)等の各教科等での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科等横断的な教育

■ 令和5年度から開始した応援メニュー

○いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会のレガシーを継承した取組を応援する (いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会レガシー基金に充当)

とちぎスポーツの活用による地域活性化推進戦略に基づく取組、障害者スポーツの推進に向けた取組などに活用しています。

主な事業は次のとおりです。

- スポーツ大会の開催や、県内でスポーツ合宿を実施する県外のスポーツ団体への助成など
- 地域に根ざしたスポーツを創出するための体験教室や普及イベントの実施に対する助成
- 障害者スポーツを通じた障害者の社会参加の促進



ワンストップ特例のお知らせ

令和5(2023)年1月から12月に寄附をいただいた方のワンストップ特例申込み期限は**令和6(2024)年1月10日(水)**です。特例の適用を受けたい方は、お申込み忘れの無いようご注意ください。万が一、お申込みを忘れた場合、控除を受けるには確定申告が必要となります。

ワンストップ特例とは？

以下のすべての条件に該当する方は、申請書を提出することで確定申告を行わずに税の軽減が受けられます。

- ①寄附した年の分の所得税について、確定申告書の提出を要しない方
- ②寄附した翌年6月以降に納付する住民税について、申告書の提出を要しない方
- ③1月1日から12月31日までの一年間に寄附した地方団体(県・市町村)の数が5つ以内の方

申請書には、申請書のほか下記の書類が必要です。

- ①個人番号が確認できる書類の写し(マイナンバーカードのウラ面や、通知カード[※]等)
- ②本人確認ができる書類の写し(マイナンバーカードのオモテ面や、運転免許証等)

[※]氏名、住所等の記載事項に変更がない場合

寄附のお申込みはこちらから

栃木県
ホームページ



さとふる



楽天
ふるさと納税



JRE MALL
ふるさと納税



お問い合わせ先

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1丁目1番20号
栃木県 総合政策部 地域振興課 地域振興・とちぎ暮らし推進担当
TEL:028-623-2236 FAX:028-623-3924
E-mail:chiiki@pref.tochigi.lg.jp

令和5(2023)年12月